



## 我が家の元気な源!

今年5月で4歳になった侑汰は、ウルトラマンが大好き。ママ怪獣にキックやパンチをしたりと、毎日元気いっぱいです。最近では突然、お箸を使うと言いだし、上手に持って食べみんなをびっくりさせました。

そして、6月で1歳になった成美はやっとハイハイできるようになり、「キャッ!キャッ!」言いながら自分の好きな所へ行って喜んでいきます。疲れて帰ってきたパパもこれにはニッコリ、さすが女の子です。

子どもを育てるのは大変だけど、たくさんのことを教えてもらい、そして2人の笑顔で元気を分けてもらいました。「もう」って思うことも多いけど、これからも2人の笑顔に助けられながらつまづいたり、時には立ち止まって、ゆっくり子育てをしていこうと思います。

平和町 根岸純子さん 30歳



## マイ・ガーデニング 花づくりは一番の健康法!

ここに住み始めて10年余り、老後の楽しみとしてガーデニングをしています。

特に、好きな花々を集めて、寄せ植えするのが好きで冬はパンジー、夏はペコニアを中心に四季折々の花を植えて楽しんで

います。春は、シャクナゲや、ツツジが一緒に咲き楽しませてくれます。来年もよい花が咲くように、花摘みや植えかえをしています。また、菊の挿し木をし、土づくりをして秋に美しく花をつけることを楽しみに



緑町の五十嵐とく子さん



にしていますが、菊はなかなか難しいものですね。嫁にも手伝ってもらい、日差しを考えて鉢の移動や水やりをしていますが、消毒がうまくできないのが悩みの種です。花をつくっているときは、他のことを忘れて自然に体を動かし、花の組み合わせなどをいろいろと考えたりします

ので、私にとっては一番の健康法と思っています。

### KOGA 万華鏡

## 予告された黒船

### 鷹見泉石と幕府のトップシークレット

北アメリカ共和政治の政府、日本国に使者を送り、日本国と通商を遂げたき由にこれあり候  
嘉永6年7月8日(旧暦6月3日)、西暦1853年のこの日、よく知られた歴史のできごとがおこります。とつぜん、ペリー率いる黒船4艘が、開国を求めて浦賀沖の江戸湾に現れたのでした。いわゆる「鎖国」時代のこの、この「祖法」を守りとおしてきた幕府にとって、その要求を受け入れることはとうてい叶わぬ相談でしょう。しかし、ペリーの携えてきた米国大統領の親書は受理されます。翌年、再度来航するといひ残し、江戸市中をパニックに陥れた黒船は、目的を果たして立ち去ったのでした。

冒頭の引用資料を思い出してください。この資料、ペリー来航前年の世界各国の政情や風俗などを記した『別段風説書』というものです。現在、当館に陳列中のこの記録には、さきの一カ条をはじめ、船隊に最新鋭の蒸気船が含まれていること、日本への出帆予定、乗組員名簿、日本の開国を目的に渡航してくるこ



「ペリー提督ほか肖像」(鷹見泉石収集の『彼理横浜入津図』より)

等々、翌年におこるべきことからの予告が詳述されているのでした。ところが、幕府は、この情報をひたすら秘匿していません。世論の動揺をおそれたからでした。この極秘情報、ではなぜ当館に収蔵展示されているのか・・・疑義の聲が聞こえてきそうです。なにしろ、古河藩には、鷹見泉石(1785~1858)が存在していたのですから。詳しくは当館常設展示「鷹見泉石と洋学」にお出かけください。

ところで、日本人は、海外情勢の把握に未熟で、ときに対応が寛大なように思われがちですが、当時はどうであったのでしょうか。

古河歴史博物館学芸員 永用俊彦